

	牧師 山本護	司式 清水由可	奏楽 山本恵美
前 奏	黙想		祈 禱
讃美歌	6 われら主をたたえまし		讃美歌 418 ころろに自由と
祈 禱			献 金
信仰告白	使徒信条 566		讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書	出エジプト記 34:34~35 ガラテヤの信徒への手紙 5:1		黙 禱 主の祈り 564
讃美歌	265 世びとの友となりて		頌 栄 541 父、み子、みたまの
説 教	『キリストの輝きを映す自由』		祝 禱 後 奏

「この自由を得させるために、キリストはわたしたちを自由の身にしてくださった。だから、しっかりしなさい。奴隷の軛に二度とつながれてはならない(ガラテヤ 5:1)」。それにしても「自由」とは何であろうか。自由について古今の偉人が鮮やかに語っているが、私は中学生になってそれを意識した。たとえば長髪の禁止とか、暴力的な学年序列がきっかけ。私の自由は、「制服化」への矯正と威張りくさる上級生との戦いであった。やがてイエスのような長髪とボロ G パンを獲得すると、今度は「人間は自由の刑に処せられている(サトウ)」とつぶやき、自由にこだわり続けた若さが恥ずかし懐かしい。

「キリストは自由へと我々を自由にした(直訳)」。「自由」という言葉が重複され、その強調した自由をキリストと関連させる。すなわち、自由とはキリストとの結びつき、キリストとは自由そのもの。キリストと自由は分かちがたく、人間にとって何よりの重大事だ、と力を込める。「だから!」、「奴隷の軛に二度とつながれてならない!!」。用法を変えたこの言い回しにも、断固たるものを感じる。

軛とは労役家畜に装着する器具だが、ユダヤには「戒命の軛」という言葉があるらしい。その意味は「律法に表わされた神の御心」への服従こそ自由なのだ、と。つまりこの軛は肯定的な表現だが、ガラテヤ書はこれをひっくり返して、「律法の軛は奴隷のもの」だと否定的に語っている(4:25)。

自由とは何か。誰の指図も受けず、自分がやりたい諸々を際限なくおこなえることなのか。独裁者や億万長者なら可能かもしれない。だが側近や召使い、権力や金目当てで近づく者は皆唯々諾々で、独裁者はおそろしく孤独だ。まるで牢獄、奴隷の軛につながれているのと同じではないか。自由とは、他者と対等に響き合うこと。キリストと結びついた自由とは、その体である私たち教会の共鳴なのだ。

「モーセは、主の御前に行って主と語るときはいつでも、出て来るまで覆いはずしていた。彼は出て来ると、命じられたことをイスラエルの人々に語った(出エジプト 34:34)」。覆いを外した顔が光を放つために、モーセは主と向かい合う時以外、顔に覆いを掛けていた(34:35)。顔が光を放ち、顔に覆いを掛けるとは、いったい何を語っているのだろうか。コリント後書は次のように解している。

「今日に至るまで、古い契約が読まれる際に、この覆いは掛かったまま。それはキリストにおいて取り除かれるものだから(IIコリント 3:14)」。律法が読まれても人々の心は「覆いが掛かったまま(3:15)」だと。だがモーセのように(出エジプト 34:34)、「主の方に向き直れば、覆いは取り去られる(IIコリント 3:16)」。覆いが取り去られたらどうなるのか。「主とは“霊”のことだが、主の霊のおられるところに自由がある(3:17)」。元に戻って自由とは、主の聖霊との結びつきらしい。それでは聖霊と結びついた自由とはどういうものか。「鏡のように主の栄光を映し出しながら~主と同じ姿に造りかえられていく(3:18)」。自由とは、天的なキリストの輝きを自分に映して、キリストの究極的な「永遠の命」に与ること。

「この自由を得させるために、キリストはわたしたちを自由の身にしてくださった(ガラテヤ 5:1)」。どうやって「自由の身にしてくださった」のか。十字架で(6:14)、神の御子の命に代えて、自由の身にしてくださった。聖霊に吹かれ、今、ここで、私たちは永遠の命たる自由を、この心身に映している。

自由	これは現実に生きている言葉で言い当てにくい	奴隷の軛ならば	幾つでも数え上げられる
自由	奴隷の軛ではないもの	明日の死に拘束されない今日の輝き	キリストを映す鏡であること

次主日 2/5 は役員会。復活祭(4/9)に向けてトーンチャイムアンソングの練習も始まります。月報「いき」への寄稿募集中です。牧師の動き:1/31 キリスト教ネット放送 CGN-TV の撮影、2/3 刑務所で個別教誨。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。